

一夜遊りのな事を以て議論すると嘗ふ様なことは一つの池に過ぎない、そこに尊敬と、重點を置いたから失敗に終つたのだ、字が一字替りなくてもよい信念を持つた人を尊敬せよ、規律、信義を重じ精神修養に向つて徳を修めなければならぬ。現在の修養園、青年團の如き大団式修養は排撃する。自己を修めずして他を批判する事は出来ぬ。身心を鍛練してこそ決心信念があるのだ、五、一五事件、血盟團事件、農民決死隊を褒めるのではないが、只感ずることば、斯くすれば斯くなる、と嘗ふことを知り乍ら笑つて其の部署に付いた事である。吉田松陰が、斯くすれば斯くなるものと知り乍らやむにやまれぬ大和魂、と歌つて居る、それをすれば倒れ、半屋に行かねばならぬ事も笑つて其の部署に付き

目的を達成する處に決心、信念があるのだ、議論、理窟では仕事の完成は出来ぬ、信念の行動に向つてこれを守り得ない、或はその部署に付き得ない人は前衛隊に道入る事は出来ぬ、無學な者でも盲行一致の出来る點に於て一致團結するならば前の様な失敗はない。凡てに非常時である今日資本主義、自由主義は人道、人心を頹敗せしめ青年は其の日其の日を過し身を崩してゐる。今日の天降式の青年團、修養園が何等の事も出来ぬのは資本家的地位を擁護する爲に麻酔劑を吹き込んで居るからた、吾々は徳、修養の力を以て現在の資本主義社會を改造するものである。この旗印の下に青年の氣勢を呼び返へせ、そして目的を達成せよ、明治の維新は青年でやつた、徳川に對し議論はせずして幕府の横て直して向つて